

【佳作】「学校給食について」

高棚小学校 榊原 来唯

ぼくは、学校生活の中で、給食の時間が長放課と同じくらい大好きです。四時間目になると給食の時間が楽しみでワクワクしてきます。好きな給食は何といっても「ビビンバ」です。まわりでも人気があるので、きつと人気投票第一位だと思います。ビビンバは以前作り方のプリントをもらったことがあるので、お母さんに頼んで家で作ってもらいました。でも、家で作ったビビンバもおいしかったです。給食のビビンバとは少しちがう味がしました。お母さんは「プリント通りに作った。」と言っていました。ぼくの中では給食のビビンバのほうが何倍もおいしく感じました。他にもお店でビビンバを注文して食べてみましたが、やっぱり給食のビビンバのほうがおいしかったです。そこで、どうして給食のビビンバがおいしいのか考えてみました。

まず、一番は何といっても味です。給食のビビンバには、きつとぼくたち小学生に合う味がつけてあるのだと思います。ビビンバ以外にも給食はおいしいメニューが多いです。それは、家やお店で食べる物よりも子供向けの味にしてあるからだと思います。あと、大きさなども食べやすい大きさになっていると、お母さんなどその工夫が、ぼくの好みにピッタリなので、おいしいと感じるのだと思います。

味つけ以外にも、給食にはおいしい工夫がたくさんされていると思います。例えば、ぼくの好きなデザートは、甘くてみずみずしくて最高です。口の中がスッキリする効果もあると思います。それから、デザートには「お楽しみ」という意味で行事に合わせた特別なものが出て、季節を感じることもできるのも、おいしく感じる理由の一つだと思います。

他にも、給食がおいしい理由があります。それは、仲間のみんなと食べると楽しくておいしいということです。給食の時は、クラスのみんなが班に分かれて食べます。その時に話をしながら食べるととても楽しいです。時々、英語の先生や教育実習の先生など珍しい人が来て一緒に給食を食べる時は、いつもよりずっと給食をおいしく感じます。あまった給食のおかわりをする時にジャンケンで勝負するのも楽しいです。そして、勝負に勝って食べるおかわりは最高においしいです。

このように、給食はただおいしいというだけでなく、おいしい工夫がたくさんつまっているということが分かりました。給食を作る人ががんばってくれていること。そしてそんな給食を友達や先生と楽しく食べることもができることに感謝したいです。だから、これから好ききらいせず、残さずおいしく給食を食べていきたいと思っています。